(4)管理の目標達成計画に対する実績(目標達成のために講ずべき措置及び達成実績)

達成目標及び業務指標		R7年度目標値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累　計
利用促進	公園利用者数の増員〔年間576.4千人以上達成〕	年間576,400人	184,803人	179,173人	184,995人	68,691人	617,662人
		達成率	32.1%	31.0%	32.1%	12.0%	107.2%
	競技場の個人入場者数の現状維持〔年間60千人以上達成〕	年間60,000人	7,747人	9,773人	12,892人	24,243人	54,655人
		達成率	12.9%	16.3%	21.5%	40.4%	91.1%
安全かつ快適な利用環境の提供	安全性の確保〔日常的な巡回・安全指導を効果的に実施し、利用者による事故発生件数を年間0件とする。〕	0件	0件	0件	0件	0件	0件
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	職員資質の向上〔安全管理・サービス向上に関する研修会を年間2回以上実施する。〕	年2回以上	2回	0回	3回	2回	7回
		達成率	100.0%	0%	150%	100%	350.0%
住民等との協働推進	公園業務に対する地域住民との協働を推進する。〔年間延べ参加者数5,400人以上〕	年間5,400人	2,560人	3,664人	3,954人	5,785人	15,963人
		達成率	47.4%	67.9%	73.2%	107.10%	295.6%
利用者満足度の向上	利用者満足度の向上〔指定管理業務に関する満足度調査で満足と回答した利用者の割合を70%以上確保する。〕	70%	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—

【参考業績指標】

利用促進	公園の利用促進のための自主事業の充実〔年間開催事業数50事業以上〕	年間50事業	29事業	7事業	6事業	13事業	55事業
		達成率	58.0%	14.0%	12.0%	26.0%	110.0%

■職員等研修（資質向上）に関すること　※資格取得のための講習会等含む

年　月	研修等内容	対象	主催
R7.5	自衛消防隊による消防訓練を実施し、防火技術、避難誘導等の向上と習熟。	職員等	屋内、屋外競技場
R7.6	札幌市内の屋貸し施設におけるヒグマ対策状況の研修会	職員	札幌市環境局
R7.11	自衛消防隊による消防訓練を実施し、防火技術、避難誘導等の向上と習熟。	職員等	屋内、屋外競技場
R7.11	冷凍機の保安事項について専門業者より指導を受け、非常時の対応について確認を行った。	職員	屋内、屋外競技場
R7.11	道内のスポーツ振興団体 8 団体が加盟する連絡会議に出席し、課題研究及び情報交換を行った。	職員	(一財)札幌市スポーツ協会
R8.2	職員による職場のハラスメントについての研修会を行った。	職員	(一財)北海道体育文化協会
R8.3	特定建築物及び給水設備等の維持管理に関する基本的知識確認のためのオンライン講習を受講した。	職員	札幌市保健所生活環境課

・目標の達成のため講ずべき措置及び実績

① 利用促進

行事あんない（毎月 1,150 部発行）、案内チラシ、新聞折込チラシ、ホームページ、園内掲示板により利用案内及び自主企画事業等イベントの情報発信提供を実施しました。

４～５月にかけては、園内のカタクリやサクラの開花情報を提供しました。

幼児から大人まで楽しんで参加できる各種スポーツ教室（幼児体育教室、テニス教室、ヨガ教室など）を実施し、大変好評をいただきました。

②安全かつ快適な利用環境の提供

安全の確保

公園利用者に常に安全・安心・快適に利用していただけるように、園内の植物管理（樹木、草花の育成管理や適切な芝、草刈）を行い、美観と衛生を保つため清掃を実施し、施設保守点検及び巡回警備等により事故・災害・犯罪等の未然防止に努めました。

施設利用者に対して、施設側の瑕疵が認められる場合に適用となる施設所有者賠償責任保険に継続加入しました。（補償内容は、対人賠償１名につき３，０００万円・１事故につき１億円、対物賠償１事故につき５００万円）

スポーツ教室の受講者に対して、（公財）スポーツ安全協会のスポーツ安全保険の積極的な加入案内をしました。

個人情報の保護については、当協会が定めた「個人情報保護規程」及び北海道の「個人情報保護条例」「事業者が個人情報を取り扱う際に準拠すべき指針」（平成１７年９月２０日制定）に定める内容を遵守して適切に行いました。

（職員資質の向上）

自衛消防隊による消防訓練を実施して、防火技術、避難誘導等の向上と習熟を図りました。

他に大規模災害時の復旧・復興の活動拠点としての避難誘導・消火・通報・搬出及び救護など総合的な訓練と予防研修を行いました。

③住民等との協働推進

春の人工池の清掃を始め、次のとおり地域住民の皆様と協働で「住民参加型」の公園づくりを推進しました。

事業名	日程	参加者数	事業概要	事業実施の効果
みんなでやろう！ラジオ体操 (屋外競技場)	4月～10月	5,422人	年齢・性別等に関係なく、健康増進・地域貢献・密着を目的に実施しました。	健康増進・地域貢献・密着、施設の有効活用を図りました。

インフィールドリニューアルオープンセレモニー	4月26日	100人	屋外競技場インフィールドのリニューアルを記念し、セレモニーイベントを開催しました。	公園及び施設のPRに繋がりました。
利用団体との意見交換会(真駒内公園)	4月～3月(計16回)	35人	真駒内園の利用促進と地域の活性化、協働・協力を目的に情報交換・相互親睦を図りました。	真駒内公園の活性化及び利用促進を図りました。
道立公園植生研究会春の活動(カタクリの里整備)真駒内公園)	4月19日	12人	道立公園植生研究会の協働で、カタクリ群生地の観察路の整備やササ刈り活動を実施しました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
カタクリの花観察会(真駒内公園)	5月2日	27人	札幌自然科学教育研究会の講師の案内で、カタクリ群生地の保護・育成を目的に観察会を実施しました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
ボランティアによる人工池清掃活動(真駒内公園)	5月3日	36人	地元青少年育成委員会と真駒内中学校・真駒内曙中学校の野球部員の協力のもと、人工池周辺の清掃活動を実施しました。	公園内の自然景観の維持ができました。
真駒内公園清掃活動(真駒内公園)	5月9日	10人	パナソニック松愛会との協働で公園内(主に記念樹通り付近)の清掃活動を実施しました。	公園内の自然景観の維持ができました。

そとまこプレーパーク (真駒内公園)	6月～9月 (計6回)	200人	園内(主にさけ科学館周辺)のプレーパーク活動(子どもの遊び場)を実施しました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
木の名札づくり (真駒内公園)	7月11日 ～9月22日	57人	真駒内公園小学校の児童に、夏休みの自由研究として、公園の枯損木を利用し木の名札を作ってもらい、園内の樹木に取り付けました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
プランター寄せ植え体験 (真駒内公園)	7月29日	23人	ガーデンアイランド北海道と協働で、ガーデニング講師の指導のもと、ボランティア参加者とプランター10基に花の寄せ植え体験会を実施しました。	公園内の自然景観の維持ができました。
札幌シーニックバイウェイスマホスタンプラリー	7月～2月	―	南区の観光施設をめぐるスマホスタンプラリーに参加しました。	公園及び施設のPRに繋がりました。
夏休み企画 「こども食堂」 (屋内競技場)	8月8、18、20、22日	329人	屋内競技場の食堂業者と協力し、児童会館の児童や一般の幼児から高校生までを対象に無料で昼食を提供しました。	地域交流の促進、食育の推進や、高齢者を含めた多世代交流の場を設けることができました。

さっぽろサケフェスタ2025 (真駒内公園)	9月21日	734人	さけ科学館との協働でさっぽろサケフェスタ2025を真駒内公園内で開催しました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
カタクリの花保護育成活動 (真駒内公園)	10月25日	11人	道立公園植生研究会と協働し、カタクリの里付近のササ刈りを実施しました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
2025-2026 V.LEAGUE WOMEN の開催	11月 8～9日	2,486人	(一社)ジャパンバレーボールリーグ及び(株)アルテミス北海道と協働し、V.LEAGUEWOMENを開催しました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。
スケートリンクオープンセレモニー (屋外競技場)	12月17日	200人	スケートリンクのオープンに伴い、オリンピアンや真駒内公園小学校の生徒などを招待しセレモニーを開催しました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。

第2回長1グランプリの開催 (屋内競技場)	12月20日	288人	(一財)札幌アイスホッケー連盟及び釧路町長ぐつアイスホッケー推進委員会と協働し、長ぐつアイスホッケー大会を開催しました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。
スケートリンク氷割 (屋内競技場)	12月24日	216人	真駒内公園小学校の児童を招待し、オープン前のスケートリンクを滑走してもらい氷割に協力していただきました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。
アジアリーグアイスホッケー2025-2026 (屋内競技場)	1月24日～25日	4,712人	レッドイーグルス北海道と協働しアイスホッケー大会を開催しました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。
スタジアム「スケートの日」 (屋外競技場)	2月1日	132人	屋外競技場スケートリンクにて、オリンピアンによるスケート教室、スノーモービル乗車体験などのイベントを開催しました。	スポーツ振興及び利用促進を図りました。
オリンピックパネル展 (屋内競技場)	2月1日～23日	85人	屋内競技場スケートリンクにて一般開放期間中、札幌オリンピック当時のポスターなどの展示を行いました。	屋内競技場の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。

アイスアリーナ子ども食堂 (屋内競技場)	2月23日	177人	アイスアリーナの食堂業者と協力し、スケートリンクを利用した小学生や児童施設の子供に昼食を無料で提供しました。	子どもへの食事提供を行うことにより、孤食の解消、食育、地域交流の場を提供することができました。
スケートリンクにお絵かきしよう！ (屋内競技場)	2月23日	355人	リンク営業最終日に氷の上に絵の具で絵を描く親子で楽しめるイベント開催しました。	屋内競技場の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
アイスアリーナ「スケートの日」 (屋内競技場)	2月23日	273人	屋内競技場のスケートリンクにて札幌オリンピックレプリカメダルの記念撮影会や、整氷車乗車体験、おしるこの無料配布を行いました。	屋内競技場の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
ザンボニーぬりえコンクール (屋内競技場)	2月23日 ～3月31日	25人	屋内競技場にて小学生以下を対象に整氷車（ザンボニー）のぬりえを募集し、作品を館内に掲示し、優秀作品には表彰を行いました。	屋内競技場の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。

自由の広場雪割りボランティア活動 (真駒内公園)	3月28日	18人	地域住民ボランティアによる公園内自由の広場の雪割り作業を行いました。	真駒内公園の認知度のアップ及び魅力の発信に繋がりました。
合　計	25事業	15,963人		

④利用者満足度の向上
利用者の多様なニーズを把握し、事業に反映させるための利用者満足度調査を実施し、施設の利用者に対してホスピタリティ溢れるサービスとサポートの実施に努めました。

（5）利用者ニーズの把握、苦情・意見等への対応等の実績

・施設の利用状況や企画事業等についてホームページや行事案内等により情報提供を行いました。
・利用者の多様なニーズを把握し、事業に反映させるための利用者満足度調査を実施し、施設の利用者に対してホスピタリティ溢れるサービスとサポートの実施に努めました。
・苦情・意見等を受けた際には速やかに内容を検討し、職員等により情報を共有し、迅速な対応を心がけました。また、主要なものについては北海道へ報告・協議を行いました。

2　当該公の施設の利用状況に関する事項

真駒内公園利用状況

区　分	利用人数
一般利用	448,618人
ジョギング	44,778人
マラソン	33,000人
団体・学校等	14,104人
自由の広場	20,026人
歩くスキー	2,429人
合　計	562,955人

真駒内公園駐車場利用状況

区　分	利用期間	運営日数	利用台数	
バス	4月29日～11月3日 ※但し、土曜日、日曜日及び休日に限る	62日	77台	
			A駐車場	20台
			B駐車場	27台
			C駐車場	30台
乗用車			26,068台	
			A駐車場	13,267台
			B駐車場	7,954台
			C駐車場	4,847台
自動二輪車 （原動機付自転車を含む。）			74台	
			A駐車場	37台
			B駐車場	17台
			C駐車場	20台
計			26,219台	